

国道152号（瀬尻）道路防災事業に係る予算流用について

1 目的

- ・国道152号は天竜区を南北に結ぶ主要幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されると共に、生活・産業・福祉など北遠地域で重要な役割を担っている。
- ・事業区間の道路斜面には多くの転石がみられ、道路への落石が危惧される。そのため、道路利用者の安全を確保するため、道路防災工事を実施する。

2 背景

- ・令和4年5月、当該箇所（天竜区龍山町瀬尻）で落石の恐れがある転石があると地元住民から報告があった。現地調査した結果、3m級の巨石の一部が欠け落ち、立木に持たれかかっている状態であったため、国道への落石の危険性が高いことが判明した。
- ・このため、至急の対策が求められているが、上記に対する事業費が確保されていないことから、一時的に他事業から流用して所要額を確保し事前執行するとともに、9月補正予算にて所要額を追加要求する。

3 事業内容

落石の危険性の高い不安定な転石に対する応急対策として以下の工事を実施する

- ・ロープ伏工 N=1式
- ・落石防止網工 上段 L=11m、下段 L=5m

4 事業費 35,000千円

款36 土木費 項06 道路橋りょう費 目60 道路保全費

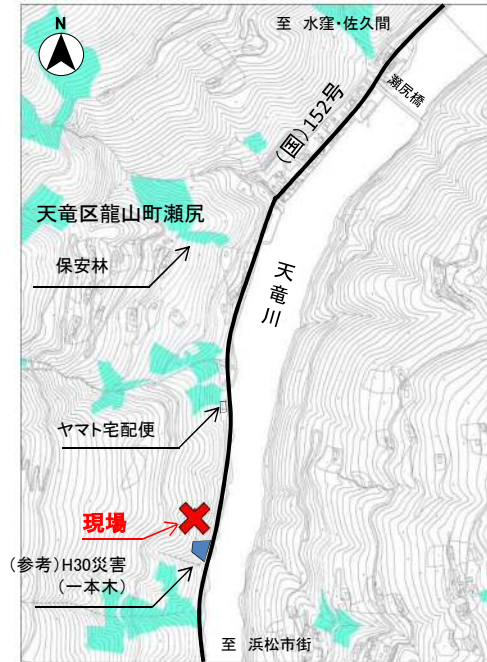
	事業	節	細節	金額（千円）
流用元	道路維持修繕事業 長寿命化推進単独事業	14 工事請負費	03 工事費	△35,000
流用先	道路防災事業 単独事業	14 工事請負費	03 工事費	35,000

5 その他

- ・9月補正予算において議案を提出し、議決後に流用額の戻しを予定。

国道152号(瀬尻)道路防災事業

位置図



状況写真

巨石真下から望む

- ・3m級
- ・風化が進み、亀裂有
- ・崩落の可能性大



巨石真下から望む
・1m級
・立木に支えられている
・落石の可能性大



沢地形 最下端
巨石が最下端まで到達した場合、
既設の落石防護網を突き破り、
国道への落下が危惧される



崩積土真下から望む

- ・50cm級が多数
- ・立木や倒木に支えられている
- ・落石の可能性大



国道から沢地形を望む

対策工法

※画像はイメージ

ロープ伏工



落石防止網工

